（別紙様式２）

製品開発企画書

１．製品名　　後染反物、先染反物、白生地、帯、和装小物、裏絹、スーツ、ブラウス、ネクタイ等製品の一般名称

２．商品名　　オリジナルブランドとして商品名がある場合は記入して下さい。

３．製品の特徴、セールスポイント等を記入

純国産絹マーク特例管理規程に該当する場合は、絹以外の繊維の種類（使用する金糸、銀糸等、部材の名称）、使用割合及び仕入先並びに帯又は帯締の場合は卸売価格を製品の種類ごとに別添様式に記入し添付すること。

４．生産計画 単位；反、本、着、枚、足、双

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 製品名 | 生産見込数量 | 生糸使用見込数量（kg） |
|  |  | kg |
|  |  |  |
| 合　計 |  | kg |

５．生産工程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 履歴表示項目 | 素材等の特徴とその反映方法等 | |
| 繭 | 蚕品種　○○×○○　　　　　繭生産年・蚕期　（西暦）年○○･○○蚕  繭生産地 県、市町村、地域名、ＪＡ名  繭使用数量　00.0kgのうち00.0kg使用　糸歩00.0%  その他特記事項があれば記入する。 | |
| 製　　糸  紬　　糸 | 製糸会社名  繰糸方法　自動繰糸機、座繰等、生糸名称　普通生糸、特殊生糸＝太繊度低張力糸、無撚シルク等　○○中00.0kgのうち00.0kg使用  紬糸生産者名、手紬又は機械紬の別 | |
| 撚　　糸 | 撚糸会社名  撚糸方法 | |
| 製　　織  製　　編 | 製織会社名  織物区分　羽二重、縮緬、繻子、紋織、紬等　織物組織  製織方法　機械の種類　ジャガード、ドビー等　高機、地織機等  製編区分　緯、経、編物組織 | |
| 染色加工  （後　染） | 染色会社名　製品開発企画に合わせた染色方法等  染色方法　手描、型染等　特殊加工の場合はその名称 | |
| 染　　織  （先　染） | | 染色会社名　製品開発企画に合わせた染織方法等  染色方法、製織方法　機械の種類、高機、地織機等 |
| その他 | 数量の追加など、過去の枝番号○○を記入する。  特記事項があれば記入する。 | |

６．販売計画

流通経路（直売、問屋経由等を記入）　○○

販売方法（専門店、デパート、地域限定等）○○○○（株）経由○○○店

７．製品見本の提出　無い場合はイメージ図

注　製品ごとに企画書を別様にしてください。